

(様式 1-3)

福島県 (葛尾村) 帰還環境整備事業計画 帰還環境整備事業等個票

平成 29 年 1 月時点

NO.	86	事業名	農山村地域復興基盤総合整備事業 (復興整備実施計画) 葛尾地区	事業番号	(5)-40-50
交付団体	福島県	事業実施主体 (直接/間接)	福島県 (直接)		
総交付対象事業費	33,000 (千円)	全体事業費	58,000 (千円)		
帰還環境整備に関する目標					
<p>本村は、大震災以前は畜産と農業を基幹産業としていたが、東京電力福島第一原子力発電所の事故の影響により村の全域が避難指示区域となり、平成 28 年 6 月に帰還困難区域を除く区域が避難指示解除されたが、現況は震災前の生活環境にはほど遠く住民の帰還は思うように進まず、農地及び農業用施設の保全管理及び営農再開の見通しが立たない状況が続いている。また、本村は山間部に位置し、傾斜地が多く農用地面積は狭小であるなど地形上不利な地域でもあり、地域農業者の営農再開に向け大きな障害となっている。</p> <p>このため、本事業を導入することにより、被災農家を含めた地域住民の帰還促進や担い手農家への農地利用集積を図り、併せて農村環境の整備に向けた対策を行い、農村地域の再生加速化を目指すものである。</p>					
事業概要					
<p>本地区は、上述のとおり営農再開が困難な状況となっているが、地域農業の復興を目指し営農再開に向け意欲が強い農家もあり、この機会に村内の農用地において基盤整備を行うことで、ほ場の大区画化等による農業生産性の向上、農作業の協業化、担い手への農地集積を促進することを目指している。</p> <p>また、帰還後における地域住民が安心して生活できる農村環境の確立を目指し、基盤整備と合わせて農村環境整備を行う必要がある。</p> <p>このため、中山間地域総合整備事業を実施すべく、実施計画策定を行う。</p> <p>受益面積 A=63ha (葛尾 (かつらお) 地区)</p> <p>【葛尾村復興計画 (第 1 次)】</p> <p>(1) 取組名：7 葛尾村の復興・発展のための施策 (インフラ整備強化、産業育成) (「7-1 新たな経営・生産方式による農林業の飛躍的発展」の「①農林業者への緊急支援」) 取組内容：(7) 農業基盤整備 農業の持続的発展と農家が意欲とやりがいを持って営農できる環境づくりのため、集落営農と一体となった農業基盤の整備を行う。</p> <p>(2) 取組名：4 葛尾村の復旧のための施策 (災害対策) (「4-2 将来像を共有しながら進める災害に強い村づくり」の「③防災拠点の整備」) 取組内容：(1) 市町村防災行政無線整備 防災行政無線のデジタル化を推進する。</p> <p>【福島県復興計画】</p> <p>6 農林水産業再生プロジェクト-2 農業の再生-④震災により深刻な影響を受けている地域農業の復興に向けた農地の利用集積の促進・⑤農地・農業用施設の復旧と合わせた大区画ほ場の整備</p>					
当面の事業概要					
<p><平成 29 年度> 事業計画策定 (現況調査、地形図作成、換地調整等)</p> <p><平成 30 年度> 事業計画策定 (効果算定、基本設計等)</p>					
地域の帰還環境整備との関係					
<p>避難指示により農用地及び農業用施設の維持管理が不可能となり、施設の劣化や機能低下が顕著であるため、再生加速化の目標達成に向け本事業の導入による農業生産基盤の整備及び住民帰還後の営農再開を支えるための農村環境の整備を早急に行う必要がある。</p>					
関連する事業の概要					

関連する基幹事業	
事業番号	
事業名	
交付団体	
基幹事業との関連性	

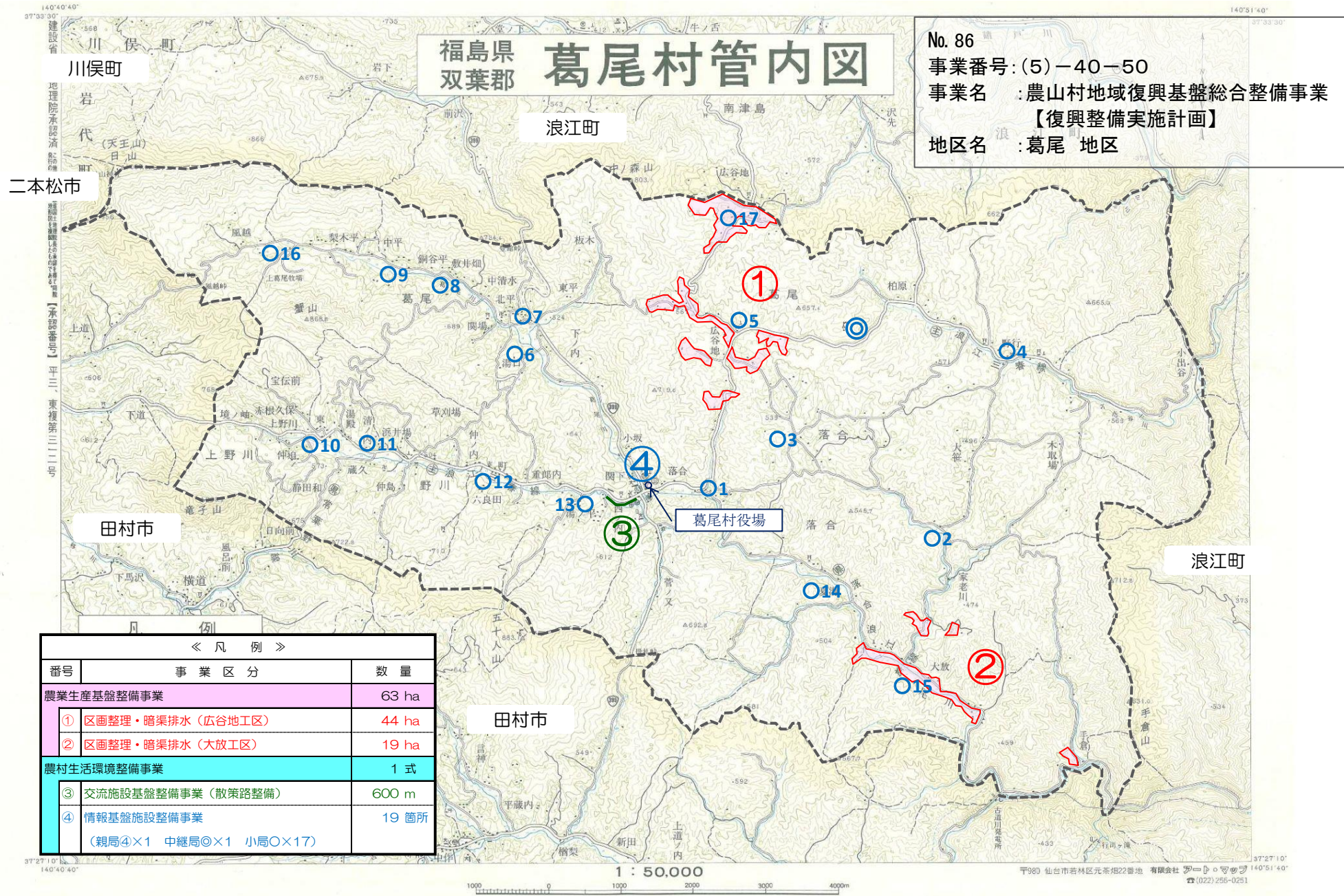
福島県 双葉郡 葛尾村管内図

No. 86

事業番号: (5)-40-50

事業名: 農山村地域復興基盤総合整備事業
【復興整備実施計画】

地区名: 葛尾 地区



《 凡 例 》		
番号	事業区分	数量
農業生産基盤整備事業		63 ha
①	区画整理・暗渠排水(広谷地区)	44 ha
②	区画整理・暗渠排水(大放地区)	19 ha
農村生活環境整備事業		1 式
③	交流施設基盤整備事業(散策路整備)	600 m
④	情報基盤施設整備事業 (親局④×1 中継局⑩×1 小局①×17)	19 箇所

1 : 50,000

〒980 仙台市若林区元茶畑22番地 有限会社 〆〆〆 〆〆〆 (022)256-0281